

# 魚稚のダイマ って育大きく

市立小5校  
児童が放流

三浦

「大きく育つて」。三浦市立小学校5校の児童計約150人が12日、同市・小網代湾でマダイの稚魚約2千

匹を放流した。地元のNPO法人「小網代パール海育隊」が主催する海洋教育活動で、子どもたちは「元気でね」と声をかけながら優しく見送った。

ダメージを与えないようゆっくりとスロープに流して海へ送り出した。写真。放流に先立ち、放流するマダイを生産して育てた県栽培漁業協会（同市・城ヶ島）の今井利為専務が「海水温の上昇などで赤ちゃんの育つ藻場がなくなっている」と栽培漁業の役割を解説した。



放流体験をしたのは南下浦、岬陽、名向、旭、三崎の5小学校の3、4年生。ふ化から5カ月ほど経過した体長約10センチのマダイをバケツに入れ、

参加した旭小学校3年の長尾直毅さん（9）は「マダイの稚魚は小さくてかわいかった。大きくなって、三浦に戻ってきてほしい」と願っていた。

（佐藤 浩幸）